

広報 せいの



'88

1-1

編集と発行 佐井村役場 総務課
青森県下北郡佐井村大字佐井字糠森20番地
電話 (0175) 38-2111(代)
印刷 青森コロニー印刷

佐井村村民憲章

- 一、学ぶ意欲をもち、知性と良識のあふれる村をつくります。
- 一、健康と安全を心がけ、明るく楽しい村をつくります。
- 一、勤労を喜び、力を合わせて豊かな村をつくります。
- 一、自然を守り、人を愛し、心やさしい村をつくります。
- 一、心身ともに健全な子の育つ、暖かい家庭と村をつくります。

今年 は辰年

辰^{たつ}

は十二支の中で唯一の空想の動物です。でも、念のため、ある動物図鑑を見たら、辰は竜として載っていました。「大蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた伝説の動物」とあります。

辰は十二支の仲間として広く知られた存在なので、架空の動物の中でも別格なのでしょう。もちろん、最近登場した怪獣の類は図鑑に載っていない

ませんでした。

伝説

の竜は中国や日本だけでなく、同じようなものがヨーロッパやインドなどにも見られます。どれも実在の動物を組み合わせたようなものですが、中国や日本の竜は、蛇の胴に足をはやし、鬼の顔に鹿の角をつけたような動物です。竜は日本では、水をつかさどる力を持っているとされ、

竜神や竜王に雨ごいをする風習が各地にあります。「竜住む池は水枯れず」とか「竜の子は小さしといえども、よく雨を降らす」などと言われるのはこのためです。

また

「竜は強いのしばしば登場します。「竜吟ずれば雲起こる」とは、英雄の決起に多くの同志がこれに従うことの意味で、英雄を竜にたとえているのです。「竜の翼を得たる」とは、強いものがさらに強くなることで、翼の代わりに水、雲な

どということもあります。「竜の髭の玉を取る」は、難しいこと、危険なことのたとえ。また、「竜の髭を蟻がねらう」は身のほど知らずのたとえです。

このように竜は強いものとされていますが、「竜虎あい撃つ」とも言われますから、竜は虎とは互角のようです。さて、村民のみなさん。この新年をどんな決意でお迎えになりましたか。いずれにしても「竜頭蛇尾」に終わらないようにしたいものですね。

あけましておめでとうございます



▲主な内容▼

- 2 年頭のあいさつ
- 3 新年句会
- 4～5 街のできごと
- 6～7 教育だより
- 8～9 矢越願掛岩(2)
- 10～11 保健婦だより
- 12～13 交田だより
- 14 税務だより
- 15 年金だより
- 16 歳時記
- 戸籍の窓口

年頭のあいさつ

村長 東出昇



新年明けましておめでとう
ございます。

輝かしい昭和六十三年の新春を迎え、村民のみなさんに謹んでお祝辞を申しあげます。

私は、村長就任以来、満一年を経過いたしました。この間、村民各位の暖かいご支援とご理解を賜り、大過なく村政を執行することができました。衷心より厚く御礼を申しあげます。

さて、昨年を振り返ってみますと、冷夏と台風十二号の被害により、水稲は皆無作に等しく、また、畑作についても大きな打撃を受けました。さらに、基幹産業であります漁業については、特に磯谷漁

港内での動力船の大破や、全域にわたる干場の被害、アワビ養殖施設の被害等、近年希に見る大災害でありました。

この対応については、関係機関及び被害農漁民方々の要望を十分に踏まえて、その対策を講じたところであります。

このような状況と相まって、村経済は依然として低迷し、出稼ぎ者が増加の傾向にあり、誠に憂慮しているところであります。このような厳しい環境下ですが、心機一転、村政執行に当たっては、村民各位の英知を結集して、明るく住みよい、潤いのある村づくりのため、決意を新たにしているところであります。

当村は、何と言っても、基幹産業である漁業を最重点施策として、振興しなければなりません。県の漁業施策と呼応し、資源培養管理型漁業の振興を推進して参る所存であ

りますが、これまでの栽培漁業の見直しをも図り、より有効な対策を講じなければならぬと考えております。そのためには、漁民各位の意識の改革を求め、漁業協同組合とより密接な協調を維持し、推進して参る所存であります。

また、福祉の充実は、人間生活の根幹であります。到来しつつある高齢化社会への対応を、真剣に推進しなければならぬと考えております。

老人の保健、福祉、医療及び生きがい対策を、総合的に調整推進する必要があると考えております。

さらに、今日の教育の目標とするところは、来たるべき二十一世紀に向かって、真に生きがいをみだし、豊かな人間性と創造的英知を備え、かつ、広い国際的視野を持った人間の育成を図ることであると存じます。

学校教育においては、それぞれ関係者のご努力により、大きな成果を挙げており、ご同慶にたえないところでありますが、社会教育については、世論の

言を待つまでもなく、充実強化を図って参る考えであります。

また、ご承知のとおり当村は、過疎地域に指定されております。産業基盤の整備をはじめ、生活環境の整備充実のため、過疎対策事業を推進しているところでありますが、この度、県当局のご配慮をいただき、過疎活性化プロジェクト事業の実施が決定いたしました。私は、この事業の実施に当って、広く住民の方々の意見を聴し、佐井村の拠点施設を建設することを決意し、すでに、この事業の円滑な推進を図るため、各団体各層からの代表を選任し、「しおさいプロジェクト推進協議会」を設置したところであります。

施設の機能は、
一、歴史と伝統を誇り、風光に恵まれた佐井村民のシンボルとしての役割。
二、老人の生きがい対策を推進し、生活環境の向上を果す役割。
三、都市交流事業を推進し、人材の育成を図る役割。

四、観光開発の促進を図るとともに、水産物、農林産物などの特産物の開発を促進する役割。
五、地元民間企業を活性化し、雇用機会を増大させる役割。以上の機能をもった施設を考え、完成年度を昭和六十五年を目途としたいと考えております。設置場所は、第四種埋立地であります。

また、国道三三八号の整備については、北村知事の特段のご配慮により、昭和六十四年度中に牛滝、野平間が大型バス通行可能となります。この路線の整備により、当村の産業、経済、文化の発展はもちろぬ、観光開発の推進にも、大きな変革をもたらすものと期待しているところであります。

昭和六十三年こそ、村民一人一人が幸せで、良い年でありますよう心からご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

佐井村中央公民館

俳句と短歌教室

新年句会

島野 房子

新年の広報取る手のもどかしさ

子と住みて笑顔交せる松飾り

若水や拝み眼を閉じ含み飲む古曆めぐり過ぎしをなつかしみ

石戸美天子

床の間の福寿草に初旭

初詣社の森は人の波

ゆるやかに着て慎しく今朝の春

田名部ヒサ

波音の間ゆる元朝幾十年

白鳥や宵に初音を上げて立つ

寄せる波返す波にも年明くる

中谷サツエ

絹糸のもつれもなきて縫初め海を背に石段教え初詣

上山 実

弓となり矢となる扇初の舞

西谷 豊彦

破船にも波濤かすめて初日かな

家長たる御慶を受けて座を正し

赤く酔つ礼者陽気に片手あぐ

当季雑詠

手作りの歌留多遊びや秋の暮

背をまるめ顔すぎ合ひし秋の陰

水澄みて虫もおらざる刈田かな

秋の夜の三味線の音細めあり

三日月や摺むに似たる枯木立

名月を射落す恋先杉木立

陽当りに切干移す早や陰る

仕事終ゆ夜釣孤りに秋の海

干潮に釣糸垂るる夜寒かな

福田 功

鍵掛岩十月の雲よこたわり

川畑 勲

荷をおろし菊の香れる休み時

浜中 よん

元朝や烏牙え鳴き眼を覚ます

冬怒濤狭霧は納屋の屋根まで

花枇杷を活けて心の静まるる

旅疲れ大間岬の暮早し

欧風の駅舎に占むる秋日和

スロープの花文字枯るる白い駅

風に乗る太鼓の音や初神楽

十三瀉に吹く風寒し蜆汁

集落に名残りも見せず十三湊

★頁数制限のため、短歌作品をはじめ優秀句を割りました。

次号へまわすものもある。

号からは、×切以降のものは認めない。(担当)

佐井村家庭教育学級日程表

時間は午後七時から

月 日	学 習 内 容	講 師	会 場
1/12 幼・小・中	豊かな家庭づくりについて学習する。(合同学習)	易国間小学校長 高木 博美先生	振 興 センター
1/19 幼・小・中	我が家の子育てについて学習する。(合同学習)	下北教育事務所 伝法 寿先生	"
1/26 幼・小・中	良い親の条件について学習する。(合同学習)	下北教育事務所 松田 里司先生	"
2/2 幼	幼児の心と体の成長と心理について学習する。	こすもす幼稚園長 工藤 紀子先生	農業研修 センター
2/16 幼	幼児の生活と習慣、病気と予防について学習する。	佐井村保健婦 横浜まり子先生	"
2/5 小	小学生の体の成長について学習する。	佐井小学校養教 畑中 ノブ先生	振 興 センター
2/9 小	子供の食生活と健康について学習する。	佐井村保健婦 宮木喜久代先生	"
2/12 中	中学生の心と体の成長と家庭教育について学習する。	佐井中学校養教 坂本 郁子先生	"
2/19 中	中学生の生活と習慣について学習する。	佐井中学校教諭 工藤 太先生	"

芥川賞作家三浦哲郎氏の

望郷(第四回)

佐井村多賀丸をテーマに、書き続けられている小説「望郷」の第四回目が、このたび別冊文芸春秋(一八一特別号)に発表されました。

多賀丸乗組員たちは、北方の皆目見当のつかない、荒涼とした地上に上陸した。海岸と陸上の二組にわけて、この土地の捜さが始まった。アザ

ラシに驚き、未知の土地には限らない不安があった。船頭の徳兵衛も死に、最年長者の磯治を頭とした。食糧も絶え自力で獲物をねらうことになり、鉄鍋の手で銚を作ったりした。

ある日、三之助は、流れものをみた。「船だ、人がいるんじゃない」と叫び、仲間を合図を送った。

海獣の皮を全身にまとった異形の者たちは、言葉は通じないが、手真似で、救助を約束して去っていった。

青少年育成村民会議

会長に竹内勇吉さん再任

十一月二十八日、振興センターを会場に、関係者約百人が参加して、青少年育成佐井村民会議総会が開催されました。

竹内勇吉会長から、村連合PTAに長年の功労で表彰状が贈られ、続いて村長、大間警察署長が祝辞を述べました。会議では、前年度事業報告運動方針、事業計画、役員改選を行い、会長に竹内勇吉さんを再任しました。

続いて、県民会議専門指導員の前田安三氏の「子どもの発達段階における親のしつけ」

と題しての講演。長後中一年の滝本志乃さんから、「寂しいけれど」と題して少年の主張



▲講演する前田先生

- 佐井中学校三年 柿崎 有美
- 「親が子どもに及ぼすもの」
- 佐井中学校三年 坂本 泉
- 「人権に思うこと」
- 佐井中学校三年 山田 達哉
- 「人権擁護(いじめ)」
- 佐井中学校三年 福田亜希子
- 「今・私が考えていること」
- 佐井中学校三年 北野 泰史
- 「いじめについて思う」

▼熱心に聞き入るみなさん



昭和六十二年度
中学生人権作文コンクール入選者

●次代を担う中学生に「人権」

について考えてもらう作文コンクールで、上記の中学生の作品が優秀作品として、青森地方法務局長から表彰されました。

「伸びよう伸ばそう青少年」地域ぐるみで青少年を育成しましょう。

青少年育成村民会議

があり、長い間漁業をしてきた父が、今年初めて出稼ぎをしたことを語り、「一生懸命働く母を、少しでも助けるため兄妹五人が力を合わせて寂しさを乗り越えたい。」と発表。参加者に感銘を与えました。

また、第二回青森県青年の船に参加した中西洋一君と樋口聖子さんから体験報告があり、「青年たちの航海」のビデオを観賞しました。

新役員は、次のとおりです。
▽会長 坂井 吾一
▽副会長 竹内 勇吉
▽監事 新田 常雄
武井 武 井 武 武

▽副会長 坂井 吾一
▽副会長 竹内 勇吉
▽監事 新田 常雄
武井 武 井 武 武

▽副会長 坂井 吾一
▽副会長 竹内 勇吉
▽監事 新田 常雄
武井 武 井 武 武

を受賞

優秀賞 青森県東北秀賞



13回東北電力中学生作文コンク

このほど、第十三回東北電力中学生作文コンクールで、長後中三年、池田正樹君が、「うにか」漁を手伝って」と

うにか「漁を手伝って

長後中三年 池田 正樹

「ドッドドッドド……」今日も白い波頭が見える北の海へ、たくさんの漁船が沖を目指し、波をかきわけかきわけ出漁していく。いつもの見なれた港の風景である。今年もまた不漁が心配されながらうにか漁が始まった。普段は、人の少ないこの小さな港でも、うにか漁の季節が来ると変わったように朝から港は活気づく。

すがすがしいというより寒くさえ感じられる五月始めの日曜日朝四時、父と母とぼくは、港へと足を早めた。ひんやりとした風が吹き、まだ辺りは薄暗い。空はどんよりと曇っている。だまっただけでも身震いがする。

「正樹、寒くねえだが、ぼくのそんな姿を見てか、母が心配そうに言っている。三

分ぐらい歩くと、もう港にいた。「ドッドドッドド……」港では先に来た人の船のエンジン音が、この朝の冷たいあたりの空気をゆさぶるように震わせて響く。父母やぼくも、すぐ船に乗り込み、出漁の準備をした。

うにか漁は、たいてい朝の五時に出漁するように決まっている。係員の上る赤い旗が上るまでは、時間まで港の中で待機しなければならぬという規則がある。だが、どの漁師も、時間を待ちきれないかのようになり、船をこきざみに前後に走らせる。

ぼくの父は、その旗を上げる係員になっている組合の理事である。

題した作品で「青森県優秀賞」「東北秀賞」を受賞しました。(県では昨年も優秀賞)

青森県で、応募校四十七校六五二編の中から優秀賞に、東北では、七県(新潟含む)三六四枚、五七四四編の中から秀賞に選ばれ、青森市と仙台市で、授賞式がありました。

学校賞として、時価十万円相当の紅白幕を戴きました。

「正樹、何時だ？」朝日に照らされてまぶしいの目を細めて父が言う。「うん、あと一分で五時だい。」

「ようし、せば旗上げると、父がかん高い声でさげびながら、真赤な旗を頭上高くあげ、風になびかせた。

お元気ですか出稼ぎ現地のみなさん

出稼ぎされている方も家族と一緒に楽しい正月を迎え、一年間の思い出を話し合っている事と思います。

今回は、そんなお父さんへの思い出を綴った作文を紹介します。

大すきなお父さん

牛瀧小三年 竹内由美子

私のお父さんは、今、大畑の船に乗ってイカつけをしています。五月に沖に出てしま

ったので、私たちの運動会にはいません。一生けんめい走っているところを見せたかったのです。

今年のお盆も、お父さんの方が早く来てしまったのでお盆には家族いっしょにお墓参りに行けませんでした。

でも十月八日の日に大畑から電話があって、「八時ごろ家さ着ぐして、まってるよ。」と言いました。私たちは、ドキドキしながらまっています。

そしたら、車のラッパの音が聞こえたので、私たちは外に出て行きました。やっぱりお父さんが来ていたので、いそいで車の所まで行って荷物を運びました。箱の中を見てみたら、大畑のおばあちゃんが

と、お父さんへのお手紙が書いてありました。お父さんへのお手紙が書いてありました。お父さんへのお手紙が書いてありました。

よこしたおかしやジュースなどがたくさん入っていました。

私は、びっくりしてしまいました。お父さんは来た後、すぐふろに入りました。ふろに入

った後は、自分でとってきたイカの刺身を食べます。私がおいしそうに刺身を食べていると、お父さんはニコニコしながら、「由美子、おめ、刺身すぎだなあ。今度まだ出かせぎ

さ行った時イカばいっぺとってくるしてな。」とうれしそうに言います。その後は、私たちと話をします。一番するのは、学校の話です。通信

簿の話や、勉強で一番をとった事を、いっぱい言います。お父さんは、私たちの話を聞きながらうでを組んでいた

ので、お母さんはお父さんを見てニコニコ笑いながら喜んでいました。私は、「お父さん

出かせぎさ行がねばいいのに。」

と思います。どうしてそう思うかと言うと、いつもいつもお父さんは出かせぎに行ってお父さんの顔もろくに見られないからです。

お父さんが牛瀧に来て、四日か五日しかいないので、あまり楽しみはありません。でも、冬休みには一ヶ月くらいあるので、冬休みは楽しいです。一番楽しい時は、大み

そかの日に家族いっしょにお参りに行く事です。私は「お父さんが、大りょうするよに……。」といのります。

お父さんが行く一日前の日になると、ぜったい木くぼり

をします。私と亜紀子は、いっぱい木をくぼるので、お父さんは喜んで私と亜紀子にお金をくれます。

お父さんが出かせぎに行く時になると、私は悲しくなつて、ついに行きたくなります。

でも、また二ヶ月くらいたつとお父さんは帰ってきます。だから、私たち家族六人でお父さんを待っていたと思います。

「ウウウウン……。」漁船がいつせいに沖へと向かって出漁していく。まるで船の競争のようである。ぼくは胸もエンジンの音と共に高鳴るのである。「ダッポーン、ダッポーン。」船体が大波にうたれ、船が上下する。そんな中でも母は、うにのえさであるごも(海藻)をまるめて、ひもで結わいでいる。それをぼくも手伝った。

漁場での仕事は、父はうにかごを上げる機械のエンジンをかけ、自分の仕かけたうにかごの目印となるボンデを船にひき上げる。そしてその下についているロープを、機械でひき上げる。ぼくと、母の仕事は、食べられなくなったエサをとりかえることと、上げたかごを海に投げて仕掛けることである。父はかごの網にかかっていっているうにかごにふるい落とすのである。五分あまり走って漁場についた。

「さあ来たぞ！」父の合図でぼくと母は仕事を「グウウン」。

機械の音とともに、かごが一つ一つ上がってきた。ぼくと母は急いでえさをとり替える。手早くやらないと、次のかごが来てしまうので、もう間に合わなくなるのだ。うには、「くにゅ、くにゅ」と、紫色のとげを光らせながら、かごに落とされる。一つのかごには約四、五个ぐらいうにかごが入っていることが多い。たまに、十四、五个も入っている

と、「わあ、すごい。」と思わ

ず叫ぶのだ。一時間半もたつと、だんだん船上のかごには、うにかごが五、六十近くあるかごも、最後になつてくる。

「さあ、かご投げる。」父が、船を操縦して、ぼくがかごを海に投げた。これは、船を走らせながらの仕事なのでとても危険である。ぼくは真剣になり、父の操縦に合わせるように、努力して投げ入れる。やっと投げ終わると、気持ちもすっきりして潮でぬれた体も気にならなくなる。満足感でいっぱいある。急に空腹感を覚える。

太陽もだいぶ高く昇った。船は港に向かっていった。港では祖父が今日も大漁かと船に入るのを待っている。「大漁だ」と、一段またにぎやかに、父の声が港に響いた。

ぼくが学校に行っている時は、これを父と母とでやるのである。母は、あのか細い身体で、かご投げのきつい危険な仕事を父と調子を合わせてやっているのだ。どんなにっらいことだろうと思うが、ぼく達には、その苦しさをあまり語らない。あたりまえのこととして毎日やっているのだ。

ぼくも海が好きである。船で海の上にいると、何もかも忘れるくらいそう快なのである。父にどならねながらも海の仕事をするのが好きなのである。祖父の血を引いて、父が海で生きていて、父の血をひいたぼくも海で生きてい

沿岸漁業の先細りを言われて

教育だより

ふとこ

懐に入る

牛滝小教頭 奥崎 孝治

担任の先生が休んだ時、補欠授業者として特殊学級へ何度か出向いたことがあった。

学級の子どもたちの状況は十分に解っているつもりで、精一杯務めたつもりであるが

なかなかうまく行かず途方にくれたことを覚えている。

後日、担任に苦労話として持ち出したら、「先生、子どもたちの懐に入らないと…」と一笑に付され、少なからず不快と不満を抱いたものである。

過日、こんな文章に触れる機会を得ることができた。

——よく晴れた日のこと、いつものように子どもたちが遊んでいる。よく見ると、その中に一人の泣き虫がいた。幼い男の子なのだが、なんでもないのに転んで泣き出した。

「ワーン、ワーン」その泣き声の大きいこと、あたり近所に響き渡る。と見ると、悪たれ

小僧の一人が泣き虫のそばへ駆け寄った。どうするのだろう。

こんなとき、二つのやり方が考えられる。一つは、すばやく抱き起こしてやること、

もう一つは、「さあ、一人で起きなさい」と励ましてやることである。

このどっちであるうと思つて見ると、まことに意外

自らも泣き虫のそばへ巧みに転げこんだのである。そして、泣き虫の顔を見てにつこり笑った。すると泣き虫も目に涙をいっぴいためてにつこり笑った。「さあ、起きよう」泣き虫は「うん！」と、うずないてそのまま起き上がった。

第二回青森県青年の船体験記(後編)



樋口聖子さん

九月十三日、蒼い一日だった。雲一つない空そして同じ蒼さで揺れる海。水平線と空が船を囲んでいる。

スケジュールに追われる日々にも慣れ、明日はもう一つの訪門国である世界一の大陸と熱い血を持つ国民の住む中国。

そして、そこへ向う船では洋上慰霊祭と洋上大運動会が空と海の優しいまなざしの中行なわれた。静かに鎮魂歌が流れ、目を閉じた。戦争という人間のおろかさや罪を青年期に体験した県知事が静かに語りはじめた。

「みなさんの進んでいる船の下の冷たく深い海に、約40万人の私たちの先輩が眠っています。彼らもみなさんと同じ大連へ向かい、約30年前ここをとおりました。しかし、目

的はたいへん意を異にしていきました。彼らの犠牲の上に今の私たちの幸せがある事をみなさんは忘れてはいけません。

黙とうが終わった時、団員のほほには光るものが流れていた。女の人は感性で、男の人は社会的意味から泣いていると私には感じられた。解散の声がマイクから聞こえたが、だれ一人としてその場から動こうとはしない。神仰心などないといわれる今の若者が、その時は敬けんに祈っていた。

慰霊祭で心を一つにした団員は運動会でも燃えに燃えた。各組おそろいのTシャツに身を包み、20畳あるかないかのせまい甲板で汗を流した。

夜、部屋に帰ってからもそれぞれ生きている人間のさまざまな悩みの色がぬり変わったのを今日の体験から学んだ。九月十四日、船の丸い窓に集まる日ざしの強さに起こされる。初秋であるのに日ざしの強さに、時差ボケより季節

ボケをおこしたのではないかと友達と笑いあった。もうすでに船は大連に入港していた。最初に中国の子供達におどろかされる。日本丸が着き、私たちがパスポートなどもるの手続きをすませ現地のバスに乗り込むまでの約一時間、歓迎の躍りを休む間もなく踊り続けていたのである。どの顔も本当に楽しそうに。

仕事から子供たちには日々接しているが、こういう光景を見たのははじめて。ねばり強い国民性をしよっぱなから突きつけられた思いがした。

大連の街並は童話の世界にある「三びきの子ぶた」のレングの家、「小公女」のセーラが通う様な出窓式の学校。ここは職業訓練校だったが、保育者になるためのコースもあり興味深く見てきた。もう一度行けるとしたら行ってみたいのがここ大連。とにかく街並が素敵。郵便局、病院、公会堂、博物館など、日本だとそう外観が変わらないものが一つ一つ違う。中でも気に入ったのが普通の家なのだが

転んで泣きやまぬ子のそばへ、自らも転んで相手と同じ世界へ入りながら「さあ、起きようか」と誘う。それは、命令でもなければ、単なる激励でもない。相手との苦しいの共感であり、悩みの共同の場に生きることなのである。

「子どもたちの懐に入らな

ければ」と、特殊学級担任に言われたこと思い出し、苦笑している。

教師という教育の専門職にありながら、悪たれ小僧の行いに目を開かれるくやしきはい出来ればくり返したくないものだと思っているのだが。

婦人スポーツの集いに参加して

奥本 昌子

第十回目の記念大会に参加する機会が与えられて、大変うれしく思いました。

五回大会以来休んでいたのに、今回はきちんと練習に出て覚えられるか心配でしたが、十年間指導してきた小林先生のおかげで、秋晴れの中、大勢の観衆の前で、素晴らしい

集団演技を楽しくやることができました。

佐井村は、紅白のユニホームで入場行進。私たちは国体選手にでもなった気分でした。

テーマ「未来」では、青森の四季で動物になったり、ネブタで跳んだり、あすなろの木型のつくったり、日頃の練習の成果を大空の下で披露し、あらためてこのスポーツの集いを通して、やればできることを体験しました。

第202回 全国珠算教育連盟主催 検定試験合格者

初段級	子矢子希梢 織子子穂子紀幸代子子勝美介子
2級	陽鉄祥亜 香陽沙淳優恵亜一昌文純広明洋裕美
5級	田島藤川池部本橋登内村部山川脇浜田川川登名
7級	柳鹿加宮菊阿滝高能竹川田若宮館横内宮宮能
8級	
9級	

レンガ作りできれいなグリーンでふちどられた出窓のある大きな家。

中国と日本では貨幣価格が違うから、そんな家でも日本円にすると、月二〇〇円くらいの家賃。バスガイドさんは「みなさんがジューズ二本買うお金があれば借りられますよ」と話していた。

中国のもう一つの訪問地、そして最後の街、青島。ここは中国の軽井沢と呼ばれているところ、都市化は今回行った四つの街の中で一番進んでいたが、それでもまだまだ自然の美しさがいたるところにある。



この日あたりから私の体調は最悪で苦しい思いをした。歯が化膿して痛み止めの薬を飲みながらの研修。帰えりた」と友達にこぼしたりもした。でもそんな私をみんなが支えてくれた。バスに乗り合わせた隣りの組の人が「私ダメみたい。みんないっぱい見えてきて」というのに「外に出た方が気がまぎれるよ」と何度かさそ

りしぼって外へ出た。この日は終日励げましてもらい、人間すてたもんじゃなないなあと感じた異国の地だった。

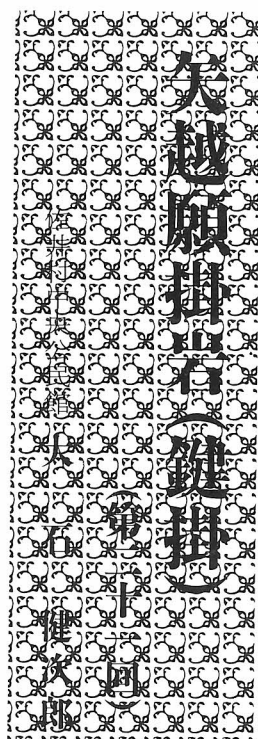
韓国では家庭の中で一番の年配者がはしをつけるまでは絶対に食べないというのがいい例だろうし、中国では子供の教育に仏教の教えが根強く残っている。日本でもろもろの問題を考える時、そこへ

がたかえなければならぬのを感じたのは私一人ではないだろう。



は「じゃ、おぶって行ってやる」とここまで言われるとさすがにことわりきれず「大丈夫」と笑顔を返し、気力をふ

だるう。



加藤鮫の歴史(その二) 縄文式時代の食物

「日本食物史」(樋口清之著)に、縄文式時代の食物として、魚類四九種、うちサメ類は、○カスミザメ ○ネズミザメ(加藤鮫) ○アオザメ ○ネコザメ ○ヨシキリザメの五種があげられている。(以上は昭和三五年版のため、考古学のいちじるしい発展の現今では、更に多くのものが追加されていると考える。

平安時代「鮫」、室町時代「鱧」、江戸時代「鱧」「鮫」が、庶民の一般食料にされていることを、同書は述べている。

下北縄文時代の鮫

下北地方でも、二千数百年から五千年前にかけて、古代の人達は、鮫を食料としていた。

た。その魚類出土品に

○女館貝塚(むつ市、縄文式前期) スズキ・マダイ・ボラ・サバ・サメ(種不明)

○最花貝塚(むつ市、縄文式中期) マイワシ・サケの一種・マグロの類・カサゴの一種・カワハギ科の一種・ウグイ・マダイ・ガンギ工重目・モウカザメ(加藤鮫)

○札地貝塚(東通村、縄文式後期) カツオ・マダイ・カサゴ・モウカザメ(加藤鮫)

○ドウマンチャ貝塚(大間町、縄文式晩期) マダイ(体長約一メートル、百匹位)・メバル・スズキ・ブリ・アイナメ・マグロ・マフグ類の一種・ネズミザメ(加藤鮫)・オナガザメ

などが記録されている。

ドウマンチャ貝塚は、佐井村の隣接町にあり、魚の種類も同じものが獲られるので、

関心もたれる。

ここで、出土の魚類背椎骨は、マダイ(一四二ヶ)・スズキ(三八ヶ)・ネズミザメ(二八ヶ)と、加藤鮫は第三位である。

オナガザメ(Alopias pelagicus NAKAMURA)は、全長六メートル、尾が大きな刀状。卵胎生で胎児はサメ類の中でいちばん少く二匹を、五月〜八月に出産する。

長い尾をふり立てて、魚群を寄せ集めて食べる。海の表面近くを泳ぎ、本州中部以南の熱帯地方の外洋に分布、肉は臭みがなく、上等のカマボコ、半片の原料とされる。

ドウマンチャ貝塚では、この鮫の骨から「耳かざり」(未完品)二ヶが出ている。

他にイノシシ牙の腕かざり、ベンケイ貝の貝輪六ヶ、アカ貝の貝輪三ヶなどの、おしゃれ道具がある。人間とは、どんな時代や、生活環境にいても、おしゃれ心を持つものらしい。

ドウマンチャ貝塚人は、その時代に合った美意識もち、それなりのおしゃれを楽しむ。

しんだのであろう。ほほえましく思う。

藩制時代の記録

大畑の二代目村林源助は、寛保元年(一七四一)に、『蛇浦に鮫 節(ハリタメ)を用漁業勢ふ』と記している。

ハリタメの意は、「とめば・止め場」「竹カゴを編んで魚を養うもの」などがある。

蛇浦の場合は、何かしら網を想像させ、鮫の種類もよくわからない。

南部藩では、野辺地の町人彦兵衛をもって、支那(中華人民共和国)向けの海産物取扱人としていた。ここでの産物は、長崎に集荷され、「長崎俵物」といわれ、外国貿易品となった。

安永五年七月(一七七六)の彦兵衛「永記録」に、

一、鱧鱈(ふかひれ) 壹本 正味拾六貫二付、代五貫文。

一、鱧鱈壹ヶ年 壹本半位 相立申候。

と記され、鱧とは加藤鮫のことである。

藩では、領内出人の船の積荷に、間尺役といつて税金を課した。文久二年(一八六二)から元治元年(一八六四)あたりの魚類間尺役の品名に、

一、鱧鱈百斤 下砂三分

一、鮫 壹本八文三分三厘と、加藤鮫をはっきり区別している。「下砂」とは砂金のこと、貿易用品のためである。

右のほか、下北での課税海産物は、○煎ナマコ、干鮑(買易用)、イワシ、粕、スルメ、塩漬ホヤ、イタラ貝、黒干鮑、シユリ貝、ニシン漬、干イワシ、塩漬イワシ、筋子、干鱈、生ニシン、タナゴ、胴ニシン、鯉節、鰯、昆布、若生、打ノリ、天グサ、ハマグリ、数ノ子、鯛、鰹、棒鱈、鯨、塩引鮭、魚油、恵胡草、粒海苔、布海苔、海月、鯨骨、鮎などが挙げられている。

日下部元慰智先生から

日下部先生は、県水産部長、昭和五八年青森県営浅虫水族館初代館長を歴任、現在は、青森県水産史編集委員長

の要職におられる。

去る十一月に、先生から加藤鮫刺網について『明治二二年の調査で上北郡横浜村の漁具図があり、この網は今から五十年前に野辺地から購求して創始、同村のものが網目を改良して以来漁獲高大に増加せり……』という記録があることを、お知らせいただき恐縮した。

明治二二年から逆算すると、天保十一年(一八四〇)のころとなる。前にのべた、野辺地の長崎俵物の安永五年(一七七六)の「鱧鱒壹本」の書留中に、読みやすくすると、
「右の通り漁師どもから相調べ、……年々によって同じではない。野辺地御領分のうちには拔売りもない」とある。このころは、網か、釣りか漁法は不明である。

それにしても、今から百四八年前から、加藤鮫刺網があったことは驚きである。

針鉄の延縄漁

「下北郡統計書」に次の記録があり、読みやすく大意を

のべてみる。

「加藤鮫漁は、それまで網で獲られていた。明治十七年九月、大間の佃栄太郎は、弁天島沖合に加藤鮫の多く回遊する様を見て、延縄漁を考えたが、釣糸を噛みとられて、人々の嘲りをあびた。それから数年後に、針鉄を入手し、特殊な鉤を作り、はじめは、アイナメ(アブラメ)の肉を用いたが、鮭肉を試みたところ、忽ち食いつきが良くなり、一日に六〜七匹の漁獲があった。それからは、統計書では「靡然(びぜん)トシテ村中二行ハレ、目下奥戸蛇浦佐井等ノ鱧漁皆クノ法ニヨルニ至レリ」とある。

私は、明治十七年九月以前に「而シテ之ガ漁法一ニ網ヲ用ユ……」の統計書の文意を重く視ている。
大間町沿革史年表(昭和五七年刊行)の、明治十七年九月欄に、「大間の佃栄太郎、鱧漁の釣道具を發明」とあり、その他の文献もこの説と同じであるが、私は不審をおぼえる。

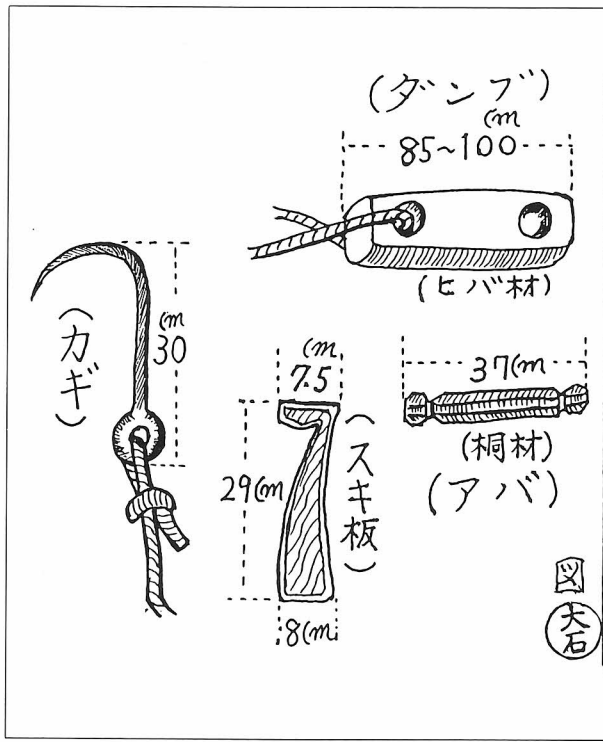
なぜなら、統計書では、栄太郎が加藤鮫の回遊を見て、延縄を考えたのは、明治十七年で、「必ず釣漁法の行ハルベキヲ察シ、爾来之ヲ研究スル数年……」とあり、それから成功したからである。

「宇曾利百話」の漁撈十題に笹沢魯羊先生は、このことを述べられているが、正確で、さすがと思う。
前述の年表には、明治二十年十二月「この年、大間の佃栄太郎のカトウ鮫網は、一ヶ年に二、〇〇〇本をあげたという。(船は当時二十艘もあった)……と記されているが、信じていいものか、どうか。

明治十七年「下北郡第四組戸籍人員明細調」では、当時の戸数人員は次の通りである。(一月一日現在)
○大間村 七十八戸 五百三人
○奥戸村 百三十八戸 七百八十四人
○材木村 二十三戸 百五十人
○両佐井 百五十五戸 千五十六人
○原田村 二十二戸 百五十三人
○川目村 四戸 三

十七人
○矢越村 八戸 七十人
○磯谷村 二十五戸 二百三十一人
○長後村 十九戸
○福浦村 十一戸 九十九人
○牛滝村 三十四戸 二百十七人

佐井村 (その三)
幕末・明治初期の加藤鮫漁具



確かに、昭和二十年〜三十年代の海は、今から比較して、何倍も魚介類は豊富であった。ましては、明治期の豊富さは、古老たちの話を聞いても驚くことが多々ある。
それにしても、年間二千匹

佃家の年間二千匹の漁獲数では、毎日、五匹〜六匹の水揚げとなる。また、漁期は十一月〜三月がピークであり、五ヶ月間としても、毎日、十二匹〜十三匹、一日も欠けることなく獲ることになる。(次号へ続く)

保健婦だより

心臓病の 予防と食生活



日常生活の節制が大切

ひと口に心臓病といっても多くの種類があり、その原因もいろいろですが、成人病として特に問題になるのは狭心症や心筋梗塞のような虚血性心疾患です。

心臓は、冠状動脈という血管系により養われていますが、この血管が何らかの原因でせまくなったり、つまったりすると、心筋の必要とする酸素を十分に送ることができなくなります。心臓は、他の臓器に比べても単位当たり酸素消費が大きく、この状態では心筋は酸素不足におちいります。

心臓病の予防と治療の面で食生活と日常生活の節制が大きな比重を占めます。

▲こんな症状が出たら専門医にすぐかかる▼
息切れする
ばらくハアハアする夜間呼吸困難があります。

歩いていてつらくなり、少し立ち止まったりして休み休み歩く、話をしても息苦しくなり息をつきながらとぎれとぎれに話しをするという状態をいいます。また明け方寝ていて息苦しくなり、床の上に取り上げがってしまい、し

胸のあたりの痛み
胸全体がジワーツとしめつけられる、とくに胸の中央にある胸骨の裏側がつかつてくる、そこに熱い鉄のなまりが入っていると表現する人が多いです。

心臓病を予防する食生活のポイント

1 厳禁 / 暴飲・暴食
一度にたくさん量を食べて胃腸に負担がかかり、心臓が圧迫されます。また、食べ過ぎ、飲み過ぎは肥満を招き、この点からも心臓病の原因となります。

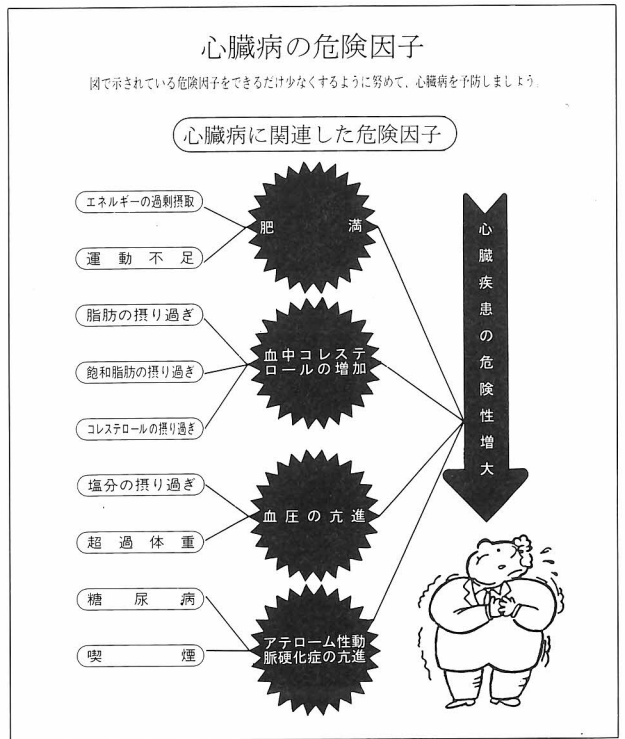
2 肥り過ぎ追放
肥満は重い荷物を背負っているようなもの。それだけ心臓に負担をかけます。したがって心臓病を予防する第一歩は、ふだんの食生活でエネルギーを摂り過ぎないようにして肥満を予防することです。

3 塩分の摂り過ぎに要注意
むくみがある時や血圧の高い時は、とくに制限をきびしくする必要があります。みそ汁、つけもの、魚の干物、加工食品の摂り方に十分注意しましょう。

4 刺激物はひかえめに
わさび、とうがらし、カレー粉などの刺激の強い香辛料、酒類、ビール、コーラ、サイダーなどの炭酸ガスを含む飲料、コーヒー、ココアなどのアルカロイドを含む飲料は摂り過ぎないように注意しましょう。

5 動物性脂肪はほどほどに
動物性脂肪を多く含む食品は、血中コレステロールを上昇させます。かわりに大豆油、ごま油、サラダ油などを用いましょう。

6 甘味類はほどほどに
砂糖を多く含む菓子類や飲料を摂り過ぎないようにしましょう。



29日(金)	27日(水)	22日(金)	21日(木)	13日(水)
(大間病院 午後一時)	養生教育講座	(離乳食調理実習)	妊婦検診	食生活改善推進員 養成教育講座
脱きゅう検診 (10回目)	食生活改善推進員 養成教育講座	乳児相談	(9回目)	食生活改善推進員 養成教育講座

一月の保健事業

チクチク痛いとか、左の乳のあたりがキリキリと針を刺すように痛いといつて、狭心症を心配する方があります。これは狭心症の訴えではありません。

そのほかの症状として

長く、明け方から起きるまで続くことがあります。
・動悸がして脈がはやくなる
・足の甲やすねにむくみがある
・脈のリズムに異常がある

◎まず自分の心臓が大丈夫かどうかチェックしてみましょう。

1	坂道を普通に歩いても、胸がドキドキしてくる。
2	階段をのぼると息切れがして、すぐハアハアしてしまう。
3	過労になると、夕方には顔や手足がむくむ。
4	たばこを吸うと胸がしめつけられるような痛みがある。
5	静かにしているのに、ときどき息苦しくなる。
6	昼間より夜間のほうが尿量が多い。
7	脈がときどき止まる。
8	運動をすると胸がいたむ。
9	頭痛がする。
10	だるい。

判定

①、②にあてはまる人は、早い時期に一度内科の診察を受ける。
③、④にあてはまる人は、心臓の病気が疑われます。内科の循環器科の診察をぜひ受ける。
⑤、⑥にあてはまる人は、健診を利用し、心臓の検査を受ける。

シリーズ 健康によいものを食べていますか④ 長生きに特効海草

海草は海水から養分を吸収して大きくなる「海の野菜」です。わが国の長寿村の大部分は、海岸沿いや離れ島にあり、食生活に海草がうまく取り入れられています。食用として、その効用を利用しているのは日本独特のことです。それが近年外国でも、健康食品、ダイエット食品として話題になっていきます。これは、海草には陸の野菜にはない貴重な成分が多く含まれていることが、科学的に解明されたためです。

◎栄養価の高いバランス食品 海草にはエネルギーは、ほとんどなく、アルカリ性の強い食品でカルシウム、ヨード、カリウム、鉄分といった無機質がずばぬけて多いというのが海草類の特徴です。カルシウムは骨や歯の成分となり神経の働きを正常に保ちます。鉄分が不足すると貧血になり、疲れやすく、忘れ

っぼくなります。またヨードは甲状腺ホルモンの主成分で不足すると甲状腺腫を起こし肥満、疲れやすくなり、新陳代謝がにぶくなり、発育が止まるなどのトラブルの原因になります。海草は繊維も豊富ですが、繊維の中ではアルギン酸などが含まれています。こんぶやわかめを水にもどすとぬるぬるしますが、そのぬるぬるの中に含まれているのがアルギン酸です。これは血液中のコレステロールを少なくして、動脈硬化を予防し、また、ナトリウムの排泄作用などにたずさわって、高血圧を防ぐと考えられています。

◎こんぶ

効用 高血圧・夜盲症 ビタミンなどがバランスよく含まれる食品であり、わかめやひじきなどよりビタミンA源としてのカロチンが豊富です。ビタミンAは夜盲症を防ぐことで知られています。最近では皮膚や粘膜を丈夫にし、かぜやがんを防ぐ力も大きいといわれています。だしをとったり、野菜との

煮物、つくだ煮、いため物、酢の物など和風料理によく利用されます。

◎わかめ

美容

効用 血圧の安定、便秘、

海草に共通の栄養分をバランスよく持っていますが、たんぱく質と鉄分は、こんぶよりも多く含まれます。

わかめは酢の物、あえ物、汁の実、煮物などに使われますが、常食すると、体液の酸性化を防ぎ、血圧が安定します。また、便秘にもよく、肌がつややかになります。

◎ひじき

効用 バセドウ氏病

海草類の中でもヨードの含有量が非常に多く、バセドウ氏病の予防に効果があり、健康上重要とされているカルシウムや鉄分なども多く含んでいます。

ひじきは、干したものを約15分ほど水にもどして用いますが、あまり長く水につけたら、長く煮すぎると、栄養がそこなわれますので気をつけましょう。

交母だより



佐 井 村
交通安全母の会

佐井村交通安全母の会

県知事賞受賞をお祝いして



大間警察署長 大 澤 景 起

輝かしい新年を迎え、心からお慶び申し上げます。
平素、母の会のみなさんには、交通安全・事故防止活動にご尽力いただいているほか、警察業務各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年十月二十七日、青森市文化会館において開催されました青森県交通安全県民大会で、交通安全活動に功労のあった個人、団体に対する表彰が行われました。その

際に、佐井村交通安全母の会が、栄ある県知事賞を受賞いたしました。この快挙は、長年にわたり交通安全活動に貢献してきた功労が認められたもので、まことに目出度い限りであり、心からお祝い申し上げます。このことは、佐井村交通安全母の会はもちろんのこと、佐井村にとりましても非常に名誉なことであります。

一口に、これまでの母の会のみなさんの努力が認められた結果であると言え、いとも簡単な表現で終わりますが、これまでの長い間の苦労はそう簡単なものではなかったと

推察いたします。昭和五十四年に母の会が結成されて以来、人の和と団結をもとにして、立派な事業計画を立て、これを適格に運用し、会の基礎を作って、これを育成してきたリーダーや、会員としての強い自覚と、旺盛なボランティア精神のもとに、お互いに責任を全うしながら活動を盛り上げてきた会員の方々の努力が今日の快挙につながったものと思えます。有名無実の会がたくさんある中で、また、一家の主婦として、家庭においては最も忙しい立場にある母の会のみなさんが、さまざまな障害や困難を乗り越えて成し遂げてきた活動は、県下においても高く評価されているところですよ。

今日の交通情勢は、自動車保有台数、運転免許人口ともに大幅に増加し、さらには交通マナーの欠如など複雑な要因がからみあい、交通事故は増加の傾向にあります。また、県内における交通事故による死者数は、昨年で四年連続抑止目標を突破するという、非

常に厳しい情勢であります。幸いにして、大間警察署管内における交通事故の発生状況は、おおむね前年と同じであります。交通死亡事故については、一件の発生もなく、一町二ヶ村ともに死亡事故発生ゼロの記録を更新中であります。

特に佐井村は、十二月四日に死亡事故ゼロ、五〇〇日を達成し、警察本部長より表彰されましたことは、重ねてお目出度いことであります。今後は引き続き、一〇〇〇日達成を目標として頑張ってくださいとあります。

今や交通事故は、日常生活の中で最も身近な脅威となっており、交通事故の防止は、国民の願いとなっております。県警察では、今年も重点活動の第一に「交通死亡事故の抑止」を掲げ、全力をあげてこれに取り組むのもちろんのこと、県民一丸となって安全運動を盛り上げていくことにしております。また、これまで四年連続達成できなかった交通事故による死者数の抑止

目標を、昨年に引き続き百十名以内として定め、諸施策を強力に進めることにしています。

ここで新たに申しあげるまでもなく、限られた警察力だけでは、非惨な交通事故から地域住民の尊い命を守り、安全で快適な交通社会を実現することは、非常に困難であります。何よりもまず、地域住民一人一人が、正しい交通ルールとマナーを実践することが肝要であり、また、我が村から絶対交通事故を出さないという、強い安全意識を持つことが大切であると思えます。

事故のない明るい地域社会づくりのために、今後とも関係機関、団体などの協力をお願いしたいと思います。特に交通安全母の会の積極的な活躍が期待される所です。終りに、佐井村交通安全母の会の、今後益々のご発展と、会員のみなさん、ご家族のご健勝、ご多幸をお祈りして、お祝いのごことばをいたします。

老人クラブ（寿会）と警察が懇談会

十一月二十六日、農業研修センターを会場に、老人クラブ（寿会）と大間警察署との懇談会が開かれ、双方の交流を深めるため、独自に「シルバー交通防犯連絡所」設置を決めました。

懇談会は、高齢者を狙った悪質訪問販売への対処と、交通事故防止を図ろうと、寿会から五十名、警察から佐井駐在所の蛭名巡査部長ら三人が出席しました。席上、「泥はね運転する車が

ある。」「リヤカーは、道路のどちら側を歩けば良いか。」など、活発な要望、質問が出されました。

なかでも、懇談するだけでは実効が期せないと、高齢者の悩みや警察への要望などの窓口となるシルバー交通防犯連絡所設置が決められ、宮野会長、会員の下牧かのさん、坪谷政道さん、畠中要一さん樋口たみさんを選出し、交通安全や防犯指導の窓口となることになりました。

▼懇談するみなさん



交通死亡事故ゼロ 一、五〇〇日を達成

昨年の十二月四日、交通死亡事故ゼロの日、一、五〇〇日が達成され、県警本部から、佐井村交通安全対第協議会へ感謝状が贈られました。

昭和五十八年十月二十六日、県道（かもしかライン）でライトバンが沢に転落、一人が死亡、二人が大けがをして以来の記録で、県下六十七市町村中七番目の記録です。

交通死亡事故を永久に無くするため、村民一同、心を新たに交通安全に取り組み、事故防止に努めていきたいと思います。

110番の上手なかけかた

- 110番をかける場合
- まず事件か 事故か
- 次におきている場所と近くの目じるし
- (〇〇小学校前、××食堂前)
- どのような状況か
- その他のことについては警察官が順におたずねしますので落ち着いて要領よく話してください。

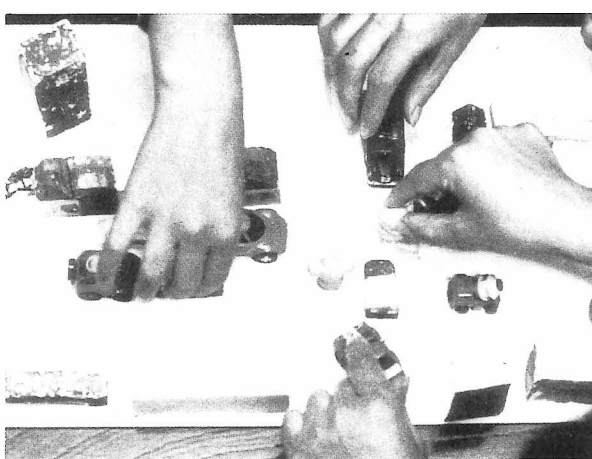


110番は10番50回です

家族で確認し合おう

今年一年の交通安全

一年の計は元旦にあり——だ。とても年の始めには、その一年の決意を新たにすもの。希望校を目指して勉強するぞ、無駄遣いをなくして車を買うわ、仕事に生きて商売繁盛、早寝早起き……。このように年の始めの決意や願いはさまざまですが、ぜひその中に、今年一年の交通安全の誓いをつけ加えてください。



▶模型を使って交通ルールを再確認

とくに正月は、家族全員がそろい、一家団らんのひとつを過ごす機会が多いものです。このチャンスを生かして、ふだん家族が交通安全についてどんなことを心がけているのか確認し合ってはいかがでしょうか。車を運転するお父さん、ミニバイクに乗るお母さん、そして歩行者や自転車利用者としてのお子さんやおじいさんなど、家族一人一人がさまざまな立場で交通社会に生きています。それぞれが外出先で、どのような点に気をつければ交通事故を防げるか、日ごろの反省を込めて話し合ってください。

また、正月だけに限らず、お父さんやお母さんは、いつでもお子さんのよい手本となるよう行動し、機会あるごとに交通安全の大切さを教えましょう。

税務だより

税金の滞納は

ありませんか

昭和六十二年度の税金は、ほとんどの納期が経過しましたが、忙しさからつい納税が遅れている方はいませんか。

一月は、国民健康保険税(第四期)で昭和六十二年年度の最終納期となっています。この機会に滞納税金を一掃したいものです。

税金の納期内納付にご協力をお願いします。納税貯蓄組合に加入している方は、計画的な納税掛金をしてください。よう、お願い申し上げます。

1月31日は
国民健康保険税(4期)
の納期限です。
＝納期内納付にご協力ください＝

青森県納税貯蓄組合連合会 納税作品コンクール結果

県連入選

▶作文

金賞 佐井小4 菊地 梢

奨励賞

▶作文 佐井小4 洪田 昌嗣

” 辻 裕樹

地区支部長佳作

▶習字 長後小1 内田 貴生

” 2 細間絵利子

” 3 田中千香子

” 6 工藤 宇之

佐井小4 奥本 孝祥

” 5 吉川 勉

長後中1 滝本 志乃

” 2 大石 孝之

” 2 滝本加那子



「役に立つ税金」

佐井小四年 菊地 梢

お母さんは、お父さんがボナスをもらってけると、「あら、税金が高いね」と言います。最初は税金ってなにかなあと思いましたが、「税金は、道路や学校を作るのに使われて、教科書も税金で買うから、私たちはお金をはらわなくてもいいんだよ。」とお父さんが言いました。佐井小学校も七億

円かかって新しくなりました。

それもお金のおかげだなあと思いました。それにお父さんの飲むタバコやお酒にも税金がかかるそうです。お父さんの話を聞いていたら、なんとなく税金についてわかったような気がしました。税金は私たちのために役立っているんだなあと思えました。

どうして税金をとらなければ、学校や道路も作れないのかなあと思えました。お父さんは「税金はみんなから少しずつ集めて、みんなの役に立つことをするんだよ。」と言いました。それから、これは知りませんでした。先生たちの給料も税金ではらわれていると聞きました。わたしは、今まで校長先生がはらっているのだと考えていました。もしも今、税金がなかったら、小学校や中学校を作る場合、その学校でださなければならぬので大変だろうなあと思います。みんなの少しずつのお金を協力して集めたから、七億円もかかったのすばらしい佐井小学校ができたのだと思いました。

昨日、佐井小学校の四年二組は、習字で「完のう」と言う字を書きました。習字を書く前に「その完のうという字は税金を全部はらい終わるという意味だよ。」とも先生が教えてくれました。

それにしても、私がわからないことは、みんなから少しずつ集めるお金は、どこで集めるのかです。お父さんは、「役場や税務署という所で集めるんだよ。」と教えてくれました。

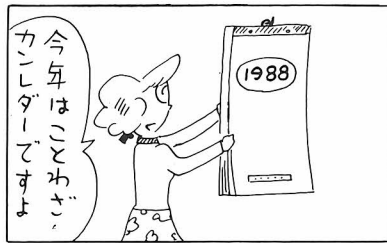
それから私は、税金はどんな物で、どのようにはらわれているのか、ふしぎに思いました。昔は、税金のかわりにお米ではらったり、いろいろな所で働いたりしていたそうです。今では、みんながもらう給料によって税金のはらう

税の相談は
テレホンサービスで
お気軽に
 〈税務相談室青森分室〉
☎0177-23-2379

金額が決められているということもお父さんから聞きました。私はこの、税金の作文を書きながら、たくさんのお金を覚えてきました。私もお金をとられるのはいやですが、みんなの役にたつものを作ったりするお金の、みんなが少しづつはらうのは、しかたのないことだと思います。私は、みんなの税金で作られたこの学校や、みんなの税金で買った教科書などを、これからも大切に使いながら、りっぱな人になるように、いっしょけんめい勉強したいと思えます。

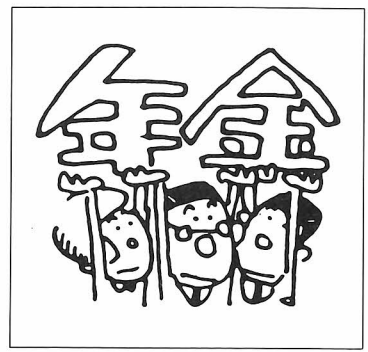
さわやか君

西村 宗



むつ社会保険事務所では、移動年金相談所を、毎年管内五ヶ所で開催しています。今年も、次の日程で実施します。多くの方々の利用をお待ちしています。

せつかく資格がありながら、申請しないでいる人がまだいるようです。どんなことでもお気軽にご相談ください。



移動年金相談所へどうぞ むつ社会保険事務所

1月7日(木)	六ヶ所村公民館
1月8日(金)	横浜町役場
1月12日(火)	大間町役場
1月13日(水)	川内町役場
1月18日(月)	大畑町中央公民館

相談所の日程は、次のとおりです。
時間はいずれも、午前十時から午後三時までです。

保険料の納め忘れはありませんか

国民年金第一号被保険者のみなさんへ

国民年金の保険料の納め忘れはありませんか。納め忘れがありますと、万一の事故のときや、年金を請求するときになって、納付期間がたりないということや、年金が受けられなくなってしまうことがあります。

二十歳になったら 国民年金に 加入しましょう。

納付期間を満たしていても未納期間があるとその分、年金額が少なくなりますので、未納とならないように配慮してください。

保険料は、毎月欠かさずきちんと納めることが大切です。確実に訪れる長寿生活の中で、生計の支えとなる年金が、納め忘れなどにより受けられないことも考えられますので、保険料を確実に納めて、満額の年金を受けましょう。



お年玉



まず、お聞きします。あなたはこの正月、お年玉を何人にいくらあげましたか？ またお宅の子供さんは、何人からいくらもらいましたか？

この額について、ある保険会社が昭和六十一年末に調査したものがあります。年末の調査なので、いくらあげるつもり、「いくらもらえそう」という予測なのですが、母親は平均七・二人に合計二万八千二百三十一円、子供は七人から二万三千九百四十三円

となっております。金額の多いことにも驚きますが、意外なのは、もらう側より、出す側の予測が上回っていることです。出す側はまだ余裕があるということなのでしょう。

いまはお年玉というと、子供にお金であげることが主になっていますが、室町時代あたりから武家や公家の間では、物を贈答する風習があったようです。年玉の語源は「年賜」だという説もあり、丸いもちのこととする見方もあります。

最近では、年始のあいさつの時に「年賀」と書いたタオルやせつけんなどを持参することもありますが、これもお年玉の一種です。

今年も、この「お年賀」用に賀詞と名前の入ったテレホンカードも出回っています。さて、お年玉といえば楽しみなのが、お年玉付き年賀葉書の抽せん会。今年も一月十五日に愛媛県松山市で行われます。

満1歳になります



田名部 要 恵ちゃん
(二郎・博美)
大佐井

戸籍の窓口

12月12日現在

◎お誕生おめでとう

宮川 葵 (英徳) 大佐井
高久 一也 (勝美) 川 目
鎌田菜美子 (耕栄) 中 道
間山 友紀 (英伸) 古佐井

◎ご結婚おめでとう

澁 田 慎 也 大間町
碓 谷 志津子 大佐井
沼 澤 正 雄 相模原市
池 田 きよ子 長 後
鈴 木 光 浩 日立市
福 田 みな子 磯 谷
坂 井 勝 己 古佐井
杉 崎 恵 東京都
宮 野 貢 古佐井
友 野 浩 子 佐倉市

◎おくやみ申し上げます

横浜初五郎 (常夫) 原 田

11月30日現在人口 (前月比)

男 1,970 (+1)
女 1,970 (±0)
計 3,940 (-1)
世帯数 1,126 (-1)

日 時 / 昭和63年1月20日(水)
午後1時から
会 場 / 磯谷地区漁民研修センター
講 師 / 金沢大学 地井教授
日本大学 黒柳教授
フランス大使館 ショマール教授

これからの
漁港漁村づくり
講演会開催



設課か水産課(三八―二二一)
一)へどうぞ。
夜光塗料で
アイディアいろいろ
夜中にトイレなどに行く時、
部屋の照明がすぐつけられる
よう、スイッチに夜光塗料を

(財)漁港漁村建設技術研究所
では、漁港と漁村は、これか
らの我が国の水産物生産と地
域社会の発展を支えていく基
盤として重要であり、漁港を
核とした働きやすく住み良い
漁村の総合整備は、緊急の課
題であるとして、今回佐井村
で講演会を開催します。
村民のみなさん、多数参加
くださるようお知らせします。
尚、お問い合わせは、役場建

塗ってみてはいかがでしょう。
夜光塗料は、DIYのお店
などに行くと、10グラム入り
のもので四〇〇円ぐらいで市
販されています。照明のスイ
ッチだけでなく、門柱の呼鈴
スイッチに塗っておくと、お
客様にも親切でしょう。ただ
し、夜光塗料は、半年から一
年ほどで効果が消えてしま
いますから、時々塗り替えるこ
ともお忘れなく。

1月3日
佐井消防団出初式
午前10:00
大佐井仲町

昭和62年度
産業別最低賃金の改定
青森労働基準局

(昭和62年12月25日)

- 青森県食料品・飲料・飼料製造業最低賃金
1日 3,690円(時間給 460円)
- 青森県繊維産業最低賃金
1日 3,490円(時間給 435円)
- 青森県木材・木製品・家具・装備品製造業最低賃金
1日 3,650円(時間給 455円)
- 青森県出版・印刷・関連産業最低賃金
(速記・筆耕・複写業を含む)
1日 3,670円(時間給 460円)
- 青森県窯業・土石製品製造業最低賃金
1日 3,960円(時間給 495円)

ただし次に掲げる者については、
1日 3,560円(時間給 445円)

1. ガラス・同製品製造業、コンクリートブロック製造業、れんが製造業又は陶磁器・同関連製品製造業に係る者。
2. 伝票整理、記帳、電話の受けその他これらに準ずる業務に主として従事する者。

- 青森県機械・金属製品等製造業最低賃金
1日 3,750円(時間給 470円)
- 青森県卸売・小売業最低賃金
(1)卸売業に係る者
1日 3,770円(時間給 470円)
(2)小売業に係る者
1日 3,490円(時間給 435円)
- 青森県自動車整備業最低賃金
1日 3,760円(時間給 470円)

コードの接続には
コード接続器を使いましょう
(財)東北電気保安協会